

# ブランデンブルグ国立管弦楽団 フランクフルト

指揮  
浮ヶ谷孝夫  
Conductor : Takao Ukigaya

ピアノ  
福間洸太郎  
Piano : Kotaro Fukuma

ベートーヴェン  
Beethoven

「プロメテウスの創造物」序曲 作品43

Prometheus Creatures Op.43 No.1 Overture

ブラームス  
Brahms

ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83

Piano Concerto No.2 B flat major Op.83

交響曲第1番 八短調 作品68

Symphony No.1 in C minor Op.68

© Mark Bouhiron

## Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt

2019 **5 | 31** (金) 開場時間18:00 開演時間19:00 **東京芸術劇場 コンサートホール**

チケット: S席: 11,000円 / A席: 9,000円 / B席: 5,000円

主催: ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト 2019日本ツアー製作委員会  
[(株)ローソンエンタテインメント / (株)ボマト・プロ]

特別協力: 東京労音

後援: ドイツ連邦共和国大使館

【お申込・お問合わせ】

●ローソンチケット: (Lコード: 30106) TEL.0570-000-407  
<https://l-tike.com/bsof2019> (オペレーター対応10時~20時)

●RO-Onチケット: TEL: 047-365-9960 平日10時~18時 土曜10時~14時 (代引郵便)

■ネット申し込み: 「東京労音」検索

●東京芸術劇場ボックスオフィス: TEL.0570-010-296 (ナビダイヤル)

●チケットぴあ: (Pコード: 138-492) TEL.0570-02-9999

●イープラス: <http://eplus.jp/bsof2019/> (パソコン&ケータイ)



ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト



<http://bsof2019.jp>

# Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt



## 浮ヶ谷孝夫 (指揮者)

Takao Ukigaya, *Conductor*

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る、日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはポメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たす。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得る。1989年より「北ドイツ放送ラジオフィルハーモニー ハノーファー」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・ウングリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュースコンサート」を担当。2016年より山梨国際音楽祭の音楽監督を務める。現在は日本の交響楽団にも招聘され、多くのファンを持つ指揮者。ドイツ在住。夫人はフルート奏者の浮ヶ谷順子さん。

## ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト

Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt

ドイツ、ブランデンブルグ州オーデル湖畔にある「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」は、1971年にクライスト歌劇場管弦楽団とフランクフルト文化オーケストラが合併して成立。1990年、ニコス・アティネオスが首席指揮者として就任後、同指揮者のもとで目を見張るような芸術的飛躍を遂げ、1995年に「フランクフルト国立管弦楽団 Frankfurt Staatsorchester」として国立オーケストラの地位を獲得。2005年「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」となりました。ベルリンのフィルハーモニー・ホールやシャウシュピールハウスを始め、ドイツ国内の各都市やヨーロッパ各国での演奏旅行を成功させており、ギドン・クレーメル、ムスティスラフ・ロストロポーヴィッチ、アナトール・ウゴルスキーなどの一流アーティストとも共演している。また、19~20世紀にかけて活躍した作曲家の作品を積極的にCD化しており、ボリス・ブラハヤの作品を収めたCDがフランスのレコード賞「ディアパーソン・ゴールドメダル」を受賞し、話題を呼びました。2001年、2005年に続いて今回は3度目のジャパンツアーとなります。次世代を担うオーケストラとして世界的に注目を浴びています。

## 福間洸太郎 (ピアノ)

Kotaro Fukuma, *Piano*

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、ベルリン・コンツェルトハウス、サルガヴォー、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響、ドレスデン・フィル、トーンキュンストラ管、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。2016年7月にはネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。2018年11月にはドイツ・ノイルッピンにて、浮ヶ谷孝夫指揮ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトとブラームスのピアノ協奏曲第2番で共演し、大好評を博す。本公演は日本での再演にあたり、各方面から注目されている。またフィギュア・スケートの羽生結弦やステファン・ランビエルなどの一流スケーターとのコラボレーションや、パリにてパリ・オペラ座バレエ団のエトワール、マチュー・ガニオとも共演するなど幅広い活躍を展開。CDは「ショパン~LEGACY~」など、これまでに13枚をリリース。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」、NHK FMなどにも出演。第34回日本ショパン協会賞受賞。現在ベルリン在住。オフィシャル・サイト：<http://www.kotarofukuma.com>

